

## 第4学年 音楽

### 第4学年の学習到達目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

### 第4学年の主な学習内容

学期	単元名 ◎は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	うたは心をつなぐ はじめの一步	●年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	○明るくのびやかな声で楽しく歌う。
	にっぽんのうたみんなのうた さくらさくら さくら変奏曲	● 情景を想像し、気持ちを込めて表現する。 ● 歌い継がれてきた日本の歌に親しむ。 ● 箏の音色に親しむ。	○景色を思い浮かべ、歌い方や声の出し方を工夫する。 ○日本の旋律の特徴を感じ取る。 ○箏による演奏を聴く。
	ひびけ歌声 飛べよツバメ ◎「サウンドオブミュージック」から	●各パートの旋律の動きを捉え、響きのあるのびやかな声で歌う。 ●いろいろな声の響きや特徴を味わい、ミュージカルの音楽を楽しむ。	○楽曲の雰囲気をつかみ、ふさわしい声で歌う。 ○音楽が物語をいっそう楽しくしていると感じながら、ミュージカルの音楽を聴いたり口ずさんだりする。 ○タイの記号について表現と関連して理解する。
	ひょうしとせんりつ エーデルワイス ◎トルコ行進曲 ラバースコンチェルト ◎メヌエット	●拍の流れにのり、旋律のまとまりを生かして演奏する。 ●行進曲のリズムや、2拍子の流れを感じ取って聴く。 ●拍子の違いを感じ取り、拍の流れにのって歌ったり聴いたりする。	○3拍子の流れにのって、歌ったり演奏したりする。 ○2拍子に合わせ指揮をしながら行進曲を聴く。 ○拍子の感じによる楽曲の気分の違いを感じて、表現したり聴いたりする。 ○4分の2、4分の3、4分の4拍子を、表現と関連して理解する。
	にっぽんのうたみんなのうた まきばの朝	●歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲想を生かして表現することができる。	○範唱を聴いて情景を思い浮かべ、景色や時の移り変わる様子を感じ取る。 ○歌詞の内容を理解し、様子や気分に合った表現を工夫して歌う。
	せんりつと音色 ゆかいに歩けば とんび	● 曲想を捉え、旋律の感じに合った声や歌い方を工夫する。 ● 旋律の流れやフレーズを意識し、それぞれの楽曲の特徴やよさを生かして表現する。	○はずんで、なめらかになど、フレーズや旋律の感じに合った歌い方を工夫する。 ○新出の音符やスタッカートなどについて、表現を通して理解する。

	アンサンブルの楽しさ ◎アラ ホーンパイプ アラ ホーンパイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンサンブルの音楽に親しみ、楽曲の構造や特徴を理解する。</li> <li>● 各声部の役割を生かし、聴き合いながら演奏することにより、楽曲への理解を深め、アンサンブルの音楽を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ トランペットとホルンの掛け合いに気づいて聴く。</li> <li>○ パートの楽器の響き合いを楽しみながらアンサンブルする。</li> </ul>
後期	音のスケッチ 川のイメージから音楽をつくらう	● 短い音型を組み合わせたたり、音楽を形づくっている要素を工夫したりしながら、友達と川をイメージした音楽を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 川をイメージして作られた楽曲を歌ったり聴いたりする。</li> <li>○ 川のイメージをもとに音型をつくり、それらを組み合わせながら音楽をつくる。</li> </ul>
	お祭りや民ようめぐり おはやしのリズムやせんりつで遊ぼう ソーランぶし ◎ サンバの音楽 ほか おどれサンバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 我が国の音楽のリズムや旋律に親しみ、それらをもとに自分たちの表現を工夫する。</li> <li>● いろいろな国の音楽に親しみ、リズムや楽器の特徴を感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太鼓の伴奏に合わせて歌ったり、リコーダーで旋律を重ねておはやしをつくったりする。</li> <li>○ リズムや楽器の音に留意し、世界の音楽を聴く。</li> <li>○ 繰り返すリズムに乗って歌い、サンバの音楽を楽しむ。</li> </ul>
	にっぽんのうた みんなのうたもみじ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲想を生かして表現する。</li> <li>● 旋律の重なりや声の響き合いを感じ取って合唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞の内容から、様子や気分を話し合い、表現に生かして歌う。</li> <li>○ 歌声に気をつけ、上声部と下声部を合わせて二部合唱する。</li> </ul>
	えんそうのツボ ラ クンパルシータ	● 楽器やパートを選んで、楽曲に合った演奏を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パートの役割や掛け合い、音の重なりを聴き取り、曲想を生かして表現する。</li> <li>○ ♯や♭について、表現と関連して理解する。</li> </ul>
	音楽のききどころ ノールウェ舞曲 第2番	● 音楽を形づくっている要素を手がかりに、楽曲の構造をつかみ、全体を味わって聴く。	○ 楽器の音色、速度や調の変化などを捉え、楽曲の形式の面白さに気づく。
	みんなの音楽パーティー こきょうの春 グッデーグッバイ  校歌・君が代	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 互いの声や音を聴き合い、音の重なりを楽しみ、友達と表現の工夫をしながらアンサンブルを楽しむ。</li> <li>● 音楽の時間の導入、学期の節目や行事と関連させて歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美しい響きで、互いに聴き合いながら、気持ちを込めて演奏したり歌ったりする。</li> <li>○ 覚えて歌えるようにする。</li> </ul>

**評価の観点・方法**

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現の仕方を工夫している。</p> <p>【表現の技能】 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽を作ったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴いている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>活動の様子や、ワークシート、歌やリコーダーなどの楽器の課題テストなどによって評価していきます。</p>
--	---

### 特色ある学習方法

- (1) 「ふしのとくちょうを感じ取ろう」の学習では、旋律の特徴をとらえて表現の仕方を工夫できるようにするために、2つの教材を対比させながら、活動を進めていきます。
- (2) 作って表現する活動では、鑑賞の活動と関連させながら楽器が持つ固有の音の対比や組み合わせを工夫する活動を通して、音に対する感性を育てていくようにします。
- (3) 鑑賞の活動では、日本各地に伝わる民謡を聴き比べ、民謡の持つ独特な響きを味わいます。

### 使用教材等

- 教科書「小学生の音楽 4」(教育芸術社)、リコーダー曲集「笛星人」を使用します。
- CD、ビデオ、楽器、歌集「みんなの歌」などを使用します。

### 留意事項

- 家庭での歌やリコーダー練習にご協力をお願いします。
- ※ リコーダーの練習は、主に音楽の授業や教室での練習を積み重ねていきたいと思ひます。長期休業中のリコーダー練習をよろしくお願ひします。
- ※ 教科書や歌集「みんなの歌」を利用して、レパートリーを増やし、いろいろなところで歌を歌えると楽しいと思ひます。ご家庭でも一緒に歌ってみてください。